

学校コード F1283101

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

宝塚医療大学 和歌山保健医療学部学部 リハビリテーション学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人平成医療学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学長企画調整室
職名・氏名	ガクチチカクシツチョウ ナカツカ カツヒロ 学長企画室長 中塚 克浩
電話番号	072-736-8600
(夜間)	072-736-8600
e-mail	nakatukak@tumh.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

和歌山保健医療学部

<リハビリテーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 附帯事項等に対する履行状況等	22
6. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人平成医療学園

(2) 大学名

宝塚医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒666-0162

(兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キシノ マサミ) 岸野 雅方 (平成13年4月)		
学長	(キシノ マサミ) 岸野 雅方 (平成27年11月)		
学部長	(キシオカ シロウ) 岸岡 史郎 (令和2年4月)		
学科長等	(コバヤシ シゲル) 小林 茂 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 学士(保健医療)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	100	0人	100	0人	100	0人	100	0人	0.99倍	0.99倍	0.92倍	0.92倍		
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	190	0人	137	0人	178	0	149	(-)						
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	187	(-)	136	(-)	176	(-)	130	(-)						
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	114	(-)	119	(-)	152	(-)	114	(-)						
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	102	(-)	101	(-)	107	(-)	87	(-)						
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.02	-	1.01	-	1.07	-	0.87	-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	102 (-)	- (-)	101 (-)	- (-)	109 (2)	- (-)	92 (3)	- (-)	
2年次			[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (4)	[-] (-)	[-] (6)	[-] (-)	
3年次					[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (7)	[-] (-)	
4年次							[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	201 [-] (-)	- [-] (-)	298 [-] (6)	- [-] (-)	371 [-] (16)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	102 人	2 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2 人	人	就学意欲の低下(2人)
令和3年度	201 人	10 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	4 人	人	就学意欲の低下(2人) 他教育機関への進学(1人)成績不良(1)
			令和3年度	6 人	人	就学意欲の低下(2人) 修学困難(疾病等による)(1人)不登校(2人)成績不良(1人)
令和4年度	298 人	14 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2 人	人	就学意欲の低下(1人) 修学困難(疾病等による)(1人)
			令和3年度	6 人	人	学力不足(4人) 修学困難(疾病等による)(2人)
			令和4年度	6 人	人	学力不足(2人)就学意欲の低下(1人) 他教育機関への進学(1人)就職(1人)修学困難(疾病等による)(1人)
令和5年度	371 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		26 人		26 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{102} = \boxed{1.96} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{201} = \boxed{4.97} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{298} = \boxed{4.69} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{371} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	哲学	1前	2					1				
	東洋思想論	1前	2					1				
	日本の文化	1後	2								兼1	
	文化人類学	1後	2								兼1	
	日本国憲法	1前	2								兼1	
	社会と法	1後	2								兼1	
	社会福祉学	1前	2				1					
	わかやま未来学	1前	2								兼1	
	統計学	1前	2			1						
	数学	1前	2			1						
	物理学*1	1後	2			2						
	化学	1前	2			1						
	生物学*2	1後	1			1						
	英語	1前	1					1				
	医学英語Ⅰ	1後	1					1				
	医学英語Ⅱ	2後	1								兼1	
	英会話	1後	1								兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1				1					
	情報処理演習Ⅱ	1後	1				1					
	健康と体づくり	2前	2					1				
	スポーツトレーニング学	2前	2					1				
	健康トレーニング演習	2後	1					1				
	健康スポーツ科学演習	3後	1					1				
	バイオメカニクス	3前	2					1				
体育実技Ⅰ	1前	1					1					
体育実技Ⅱ	1後	1					1					
トレーナー実習	3前	1					1					
コミュニケーション演習	1後	1					1					
心理学	2後	2								兼1		
医療経営学	2後	2								兼1		
メディカルツクリズム論	2前	2								兼1		
伝統医療論	1後	2								兼1		
薬膳食養概論	3前	2			1							
基礎ゼミナール	1前	1						1				
小計(34科目)	-	9	45			3	2	2	0		兼8	
専門基礎科目	解剖学	1前	2			1						
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1						
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1						
	生理学	1前	2			1						
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1						
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1						
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1						
	解剖生理学実習	2後	1			1						
	公衆衛生学	2後	2								兼1	
	病理学	2後	2			1						
	病理学演習	3前	1			1						
	人間発達学	1後	2								兼1	
	運動発達学	2前	2								兼1	
	栄養学	3前	2			1						
	薬理学	3前	1			1						
	リハビリテーション医学	2前	2								兼1	
	内科学	2後	2								兼1	
	神経内科学	2前	2			1						
	神経内科学演習	2後	1			1						
整形外科	2前	2								兼1		
整形外科演習	2後	1								兼1		
小児科学	2前	2								兼1		
画像診断学	2前	1								兼1		
精神医学	3前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	哲学	1前	2					1				
	東洋思想論	1前	2					1				
	日本の文化	1後	2								兼1	
	文化人類学	1後	2								兼1	
	日本国憲法	1前	2								兼1	
	社会と法	1後	2								兼1	
	社会福祉学	1前	2				1					
	わかやま未来学	1後	2								兼2	
	統計学	1前	2			1						
	数学	1前	2			1						
	物理学*1	1後	2			2						
	化学	1前	2			1						
	生物学*2	1後	1			1						
	英語	1前	1					1				
	医学英語Ⅰ	1後	1					1				
	医学英語Ⅱ	2後	1								兼1	
	英会話	1後	1								兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1				1					
	情報処理演習Ⅱ	1後	1				1					
	健康と体づくり	2前	2					1				
	スポーツトレーニング学	2前	2					1				
	健康トレーニング演習	2後	1					1				
	健康スポーツ科学演習	3後	1					1				
	バイオメカニクス	3前	2					1				
体育実技Ⅰ	1後	1					1					
体育実技Ⅱ	2前	1					1					
トレーナー実習	3前	1					1					
コミュニケーション演習	1後	1					1					
心理学	2後	2								兼1		
医療経営学	2後	2								兼1		
メディカルツクリズム論	2前	2								兼1		
伝統医療論	1前	2								兼1		
薬膳食養概論	3前	2			1							
基礎ゼミナール	1前	1						1				
小計(34科目)	-	9	45			3	2	2	0		兼8	
専門基礎科目	解剖学	1前	2			1						
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1						
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1						
	生理学	1前	2			1						
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1						
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1						
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1						
	解剖生理学実習	2後	1			1						
	公衆衛生学	2後	2								兼1	
	病理学	2後	2			1						
	病理学演習	3前	1			1						
	人間発達学	1後	2								兼1	
	運動発達学	2前	2								兼1	
	栄養学	3前	2			1						
	薬理学	3前	1			1						
	リハビリテーション医学	2前	2								兼1	
	内科学	2後	2								兼1	
	神経内科学	2前	2			1						
	神経内科学演習	2後	1			1						
整形外科	2前	2								兼1		
整形外科演習	2後	1								兼1		
小児科学	2前	2								兼1		
画像診断学	2前	1								兼1		
精神医学	3前	2								兼1		

作業療法学専攻専門科目	精神障害作業療法学総論 * 2	2後	2		1																
	老年期障害作業療法学総論 * 2	3前	2							1											
	発達障害作業療法学総論 * 2	3前	2							1											
	身体障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	精神障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2			1															
	老年期障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	発達障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	義肢装具学 * 2	2後	2							1											
	臨床作業療法学演習 I * 2	4後	1							1											
	臨床作業療法学演習 II * 2	4後	1							1											
	身体障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1						1												
	精神障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1			1															
	老年期障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1											
	発達障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1											
	応用身体障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	応用精神障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1			1															
	応用老年期障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	応用発達障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	地域とくらしの健康 * 2	3後	2			1															
	生活環境学演習 * 2	3前	1			1															
地域作業療法学演習 * 2	3後	1								1											
レクリエーション演習 * 4	3後	1								1											
臨床見学実習 * 2	2前	2			2			1		3											
臨床評価実習 * 2	3後	4			2			1		3											
総合臨床実習 * 2	4前	16			2			1		3											
小計(86科目)	-	0	150	0	5	2	3	5	0	兼0											
合計(155科目)	-	53	206	0	10	2	5	5	0	兼25											

卒業要件及び履修方法

【科目名の後ろの記号(*1~*4)の適応】

- *1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
- *2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
- *3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。
- *4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。

【卒業要件】

- 学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。
各専攻における卒業に必要な単位数は次のとおり。
- ① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(*1、*3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。
 - ② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(*2、*4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。

【履修方法】

履修科目の登録の上限:48単位(年間)

作業療法学専攻専門科目	精神障害作業療法学総論 * 2	2後	2			1															
	老年期障害作業療法学総論 * 2	3前	2							1											
	発達障害作業療法学総論 * 2	3前	2							1											
	身体障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	精神障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2			1															
	老年期障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	発達障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1											
	義肢装具学 * 2	2後	2							1											
	臨床作業療法学演習 I * 2	4後	1							1											
	臨床作業療法学演習 II * 2	4後	1							1											
	身体障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1						1					1							
	精神障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1			1															
	老年期障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1											
	発達障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1											
	応用身体障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	応用精神障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1			1															
	応用老年期障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	応用発達障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1											
	地域とくらしの健康 * 2	3後	2			1															
	生活環境学演習 * 2	3前	1			1															
地域作業療法学演習 * 2	3後	1								1											
レクリエーション演習 * 4	3後	1								1											
臨床見学実習 * 2	2前	2			2			1		3											
臨床評価実習 * 2	3後	4			2			1		3											
総合臨床実習 * 2	4前	16			2			1		3											
小計(86科目)	-	0	150	0	5	2	3	5	0	兼0											
合計(155科目)	-	53	206	0	10	2	5	5	0	兼25											

卒業要件及び履修方法

【科目名の後ろの記号(*1~*4)の適応】

- *1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
- *2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
- *3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。
- *4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。

【卒業要件】

- 学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。
各専攻における卒業に必要な単位数は次のとおり。
- ① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(*1、*3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。
 - ② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(*2、*4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。

【履修方法】

履修科目の登録の上限:48単位(年間)

【令和3年度】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	哲学	1前	2			1						
	東洋思想論	1前	2			1						
	日本の文化	1後	2								兼1	
	文化人類学	1後	2								兼1	
	日本国憲法	1前	2								兼1	
	社会と法	1後	2								兼1	
	社会福祉学	1前	2			1						
	わかやま未来学	1後	2								兼14	
	統計学	1前	2			1						
	数学	1前	2			1						
	物理学*1	1後	2			1						
	化学	1前	2			1						
	生物学*2	1後	1			1						
	英語	1前	1					1				
	医学英語Ⅰ	1後	1					1				
	医学英語Ⅱ	2後	1								兼1	
	英会話	1後	1								兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1			2						
	情報処理演習Ⅱ	1後	1			2						
	健康と体カづくり	2前	2					1				
	スポーツトレーニング学	2前	2					1				
健康トレーニング演習	2後	1					1					
健康スポーツ科学演習	3後	1					1					
バイオメカニクス	3前	2					1					
体育実技Ⅰ	1前	1					1					
体育実技Ⅱ	1後	1					1					
トレーナー実習	3前	1					1				兼1	
コミュニケーション演習	1後	1					1					
心理学	2後	2									兼1	
医療経営学	4後	2									兼1	
メディカルツーリズム論	2前	2									兼1	
伝統医療論	1前	2									兼1	
伝統医療論	1前	2			1							
薬膳食養概論	3前	2										
基礎ゼミナール	1前	1					1					
小計(34科目)	-	9	45		3	2	2	0	0		兼21	
専門基礎科目	解剖学	1前	2			1						
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1						
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1						
	生理学	1前	2			1						
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1						
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1						
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1						
	解剖生理学実習	2後	1			1						
	公衆衛生学	2後	2								兼1	
	病理学	2後	2			1						
	病理学演習	3前	1			1						
	人間発達学	1後	2								兼12	
	運動発達学	2前	2								兼11	
	栄養学	3前	2			1						
	薬理学	3前	1			1						
	リハビリテーション医学	2前	2								兼11	
	内科学	2後	2								兼1	
	神経内科学	2前	2			1						
	神経内科学演習	2後	1			1						
	整形外科	2前	2								兼1	
整形外科演習	2後	1								兼1		
小児科学	2前	2								兼1		
画像診断学	2前	1								兼2		
精神医学	3前	2								兼1		
臨床検査学	3前	1								兼1		
老年医学	4後	2								兼1		
予防医学	4後	2			1							
救急措置法演習	3後	1								兼1		
リハビリテーションの理念	1前	2			1							
保健医療福祉概論	3前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	哲学	1前	2									兼1
	東洋思想論	1前	2									兼1
	日本の文化	1後	2									兼1
	文化人類学	1後	2									兼1
	日本国憲法	1前	2									兼1
	社会と法	1後	2									兼1
	社会福祉学	1前	2					1				
	わかやま未来学	1後	2								兼14	
	統計学	1前	2					1				
	数学	1前	2					1				
	物理学*1	1後	2			1						
	化学	1前	2			1						
	生物学*2	1後	1			1						
	英語	1前	1									兼1
	医学英語Ⅰ	1後	1									兼1
	医学英語Ⅱ	2後	1									兼1
	英会話	1後	1									兼1
	情報処理演習Ⅰ	1前	1					1	1			兼1
	情報処理演習Ⅱ	1後	1					1	1			兼1
	健康と体カづくり	2前	2						1			
	スポーツトレーニング学	2前	2						1			
健康トレーニング演習	2後	1						1				
健康スポーツ科学演習	3後	1						1				
バイオメカニクス	3前	2						1				
体育実技Ⅰ	1前	1						1				
体育実技Ⅱ	1後	1						1				
トレーナー実習	3前	1						1			兼1	
コミュニケーション演習	1後	1								1		
心理学	2後	2									兼1	
医療経営学	4後	2									兼1	
メディカルツーリズム論	2前	2									兼1	
伝統医療論	1前	2									兼1	
伝統医療論	1前	2			1							
薬膳食養概論	3前	2										
基礎ゼミナール	1前	1					1					
小計(34科目)	-	9	45		3	3	3	3	1	0	兼23	
専門基礎科目	解剖学	1前	2			1						
	解剖学演習Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学演習Ⅱ	1後	1			1						
	解剖学演習Ⅲ	1後	1			1						
	生理学	1前	2			1						
	生理学演習Ⅰ	1後	1			1						
	生理学演習Ⅱ	2前	1			1						
	生理学演習Ⅲ	2後	1			1						
	解剖生理学実習	2後	1			1						
	公衆衛生学	2後	2								兼1	
	病理学	2後	2			1						
	病理学演習	3前	1			1						
	人間発達学	1後	2									兼11
	運動発達学	2前	2									兼9
	栄養学	3前	2			1						
	薬理学	3前	1			1			1			
	リハビリテーション医学	2前	2									兼14
	内科学	2後	2									兼1
	神経内科学	2前	2			1						
	神経内科学演習	2後	1			1						
	整形外科	2前	2									兼1
整形外科演習	2後	1									兼1	
小児科学	2前	2									兼1	
画像診断学	2前	1									兼5	
精神医学	3前	2									兼1	
臨床検査学	3前	1									兼1	
老年医学	4後	2									兼1	
予防医学	4後	2			1							
救急措置法演習	3後	1									兼1	
リハビリテーションの理念	1前	2			1							
保健医療福祉概論	3前	2			1							

専 門 科 目	発達障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1		
	義肢装具学 * 2	2後	2							1		兼1
	臨床作業療法学演習 I * 2	4後	1		1					1		
	臨床作業療法学演習 II * 2	4後	1							1		
	身体障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1						1			
	精神障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1		1							
	老年期障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1		
	発達障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1		
	応用身体障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1		1					1		
	応用精神障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1		1							
	応用老年期障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1		
	応用発達障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1		
	地域とくらしの健康 * 2	3後	2		1							
	生活環境学演習 * 2	3前	1		1							
	地域作業療法学演習 * 2	3後	1								1	
	レクリエーション演習 * 4	3後	1								1	
	臨床見学実習 * 2	2前	2		2						2	
	臨床評価実習 * 2	3後	4		2		1			3		
	総合臨床実習 * 2	4前	16		2		1			3		
	小計(86科目)	-	0	150	0	5	2	1		5	0	兼3
	合計(155科目)	-	53	206	0	10	2	3		5	0	兼57

卒業要件及び履修方法

【科目名の後ろの記号(*1~*4)の適応】
*1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
*2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
*3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。
*4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。

【卒業要件】
学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。
各専攻における卒業に必要な単位数は次のとおり。
① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(*1、*3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。
② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(*2、*4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。

【履修方法】
履修科目の登録の上限:48単位(年間)

専 門 科 目	発達障害作業療法治療学各論 * 2	3後	2							1			
	義肢装具学 * 2	2後	2							1			兼2
	臨床作業療法学演習 I * 2	4後	1							1			
	臨床作業療法学演習 II * 2	4後	1							1			
	身体障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1			
	精神障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1		1								兼1
	老年期障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1			
	発達障害作業療法治療学実習 * 2	3前	1							1			
	応用身体障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1		1					1			
	応用精神障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1		1								
	応用老年期障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1			
	応用発達障害作業療法治療学演習 * 4	3後	1							1			
	地域とくらしの健康 * 2	3後	2		1						1		兼4
	生活環境学演習 * 2	3前	1		1								兼1
	地域作業療法学演習 * 2	3後	1								1		兼5
	レクリエーション演習 * 4	3後	1								1		
	臨床見学実習 * 2	2前	2		2					1	3		
	臨床評価実習 * 2	3後	4		2		1			3			
	総合臨床実習 * 2	4前	16		2		1			3			
	小計(86科目)	-	0	150	0	4	2	4		4	0	兼23	
	合計(155科目)	-	53	206	0	9	3	5		4	0	兼74	

卒業要件及び履修方法

【科目名の後ろの記号(*1~*4)の適応】
*1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
*2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
*3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。
*4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。

【卒業要件】
学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。
各専攻における卒業に必要な単位数は次のとおり。
① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(*1、*3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。
② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(*2、*4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。

【履修方法】
履修科目の登録の上限:48単位(年間)

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部 共通科目	哲学	1前	2									兼1	
	東洋思想論	1前	2									兼1	
	日本の文化	1後	2									兼1	
	文化人類学	1後	2									兼1	
	日本国憲法	1前	2									兼1	
	社会と法	1後	2									兼1	
	社会福祉学	1前	2				1						
	わかやま未来学	1後	2									兼14	
	統計学	1前	2				1						
	数学	1前	2				1						
	物理学*1	1後	2				1						
	化学	1前	2				1						
	生物学*2	1後	1				1						
	英語	1前	1										兼1
	医学英語Ⅰ	1後	1										兼1
	医学英語Ⅱ	2後	1										兼1
	英会話	1後	1										兼1
	情報処理演習Ⅰ	1前	1				1	1					兼1
	情報処理演習Ⅱ	1後	1				1		1				兼1
	健康と体かづくり	2前	2						1				
	スポーツトレーニング学	2前	2						1				
	健康トレーニング演習	2後	1						1				
	健康スポーツ科学演習	3後	1						1				
	バイオメカニクス	3前	2						1				
	体育実技Ⅰ	1前	1						1				
	体育実技Ⅱ	1後	1						1				
	トレーナー実習	3前	1						1				兼1
	コミュニケーション演習	1後	1							1			
	心理学	2後	2										兼1
	医療経営学	4後	2										兼1
	メディカルツーリズム論	2前	2										兼1
	伝統医療論	1前	2										兼1
	薬膳食養概論(未開講)	3前	2				1						
	基礎ゼミナール	1前	1					1					
小計(34科目)	-	9	45			3	3	2	2	0		兼23	
専門 基礎科目	解剖学	1前	2				1						
	解剖学演習Ⅰ	1前	1				1						
	解剖学演習Ⅱ	1後	1				1						
	解剖学演習Ⅲ	1後	1				1						
	生理学	1前	2					1					
	生理学演習Ⅰ	1後	1					1					
	生理学演習Ⅱ	2前	1					1					
	生理学演習Ⅲ	2後	1					1					
	解剖生理学実習	2後	1					1	1				
	公衆衛生学	2後	2									兼1	
	病理学	2後	2					1					
	病理学演習	3前	1					1					
	人間発達学	1後	2									兼11	
	運動発達学	2前	2									兼9	
	栄養学	3前	2					1					
	薬理学	3前	1					1	1				
	リハビリテーション医学	2前	2									兼14	
	内科学	2後	2									兼1	
	神経内科学	2前	2					1					
	神経内科学演習	2後	1					1					
	整形外科学	2前	2									兼1	
	整形外科学演習	2後	1									兼1	
	小児科学	2前	2									兼1	
	画像診断学	2前	1									兼5	
	精神医学	3前	2									兼2	
	臨床検査学	3前	1									兼1	
老年医学	4後	2									兼1		
予防医学	4後	2					1	1					
救急措置法演習	3後	1									兼1		
リハビリテーションの理念	1前	2					1						
保健医療福祉概論(未開講)	3前	2					1						

チーム医療論	3後		2		1								
リスクマネジメント論	1後	2			1	2	2	4					
医療情報学演習	3後		1				1						
管理運営学	3後		2				1					兼1	
小計(35科目)	-	44	11		7	3	3	4	0			兼30	
理学療法学専攻専門科目													
運動学*1	1後		2				1						
運動学実習*1	2前		1				1						
病態運動学演習*1	3後		1		1								
理学療法概論*1	1後				1								
生体活動計測・分析法演習*1	2後		1			1							
理学療法研究の基礎*	2後		1					1					
理学療法研究法演習Ⅰ	3後		1		2	2	2	3					
理学療法研究法演習Ⅱ	4後		1		2	2	2	3					
理学療法管理学*1	3後		2		1							兼3	
評価学総論*1	1前		2		1					1			
検査測定実習Ⅰ*1	1後		1			1	1						
検査測定実習Ⅱ*1	2前		1			1	1						
評価学各論*1	3前		2							2			
応用評価学演習*3	3後		1			1	1						
運動療法学概論*1	1後		2				1						
運動器障害理学療法学	2後		2		1							兼1	
運動器障害理学療法学実習*1	3前		1		1							兼1	
物理療法学*1	3前		2					2					
日常生活動作学実習*	3後		1			1	1						
応用運動器障害理学療法学演習*3	4後		1		1							兼1	
骨髄障害理学療法学*	2後		2							1		兼2	
骨髄障害理学療法学実習*1	3前		1							1		兼1	
神経系障害理学療法学	3前		2									兼1	
神経系障害理学療法学実習*1	3後		1									兼2	
応用神経系障害理学療法学演習*3	4後		1				1	1					
発達障害理学療法学*	2後		2									兼1	
発達障害理学療法学実習*1	3前		1									兼2	
応用発達障害理学療法学演習*3	4後		1							1			
呼吸・循環障害理学療法学Ⅰ*1	2後		2		1								
呼吸・循環障害理学療法学Ⅱ*3	3後		2		1		1					兼1	
呼吸・循環障害理学療法学実習*1	3前		1		1		1						
応用呼吸・循環障害理学療法学演習*3	4後		1		1		1						
代謝疾患理学療法学*1	3後		1				1	1					
神経筋疾患理学療法学*1	3後		1			1	1						
臨床理学療法学演習Ⅰ	4後		1			1	1						
臨床理学療法学演習Ⅱ	4後		1			1	1						
義肢装具学*1	2前		2		1							兼1	
義肢装具学実習*1	2後		1		1							兼1	
高齢者理学療法学演習*1	3前		1			1				1			
生活環境学演習*1	3後		1		1					1			
地域理学療法学演習*1	3後		1			1				1			
レクリエーション演習*3	3後		2				1	1					
臨床見学実習*1	2前		2		2	2	2	3					
臨床評価実習*1	3後		4		2	2	2	3					
総合臨床実習*1	4前		14		2	2	2	3					
作業療法学専攻													
運動学*2	1後		2				1	1					
運動学実習*2	2前		1				1	1					
作業療法概論*2	1後		1		1								
生体活動計測・分析法演習*2	2後		1					1	1				
作業療法研究の基礎*2	2後		1		1								
作業療法研究法演習Ⅰ	3後		1		1		2	4					
作業療法研究法演習Ⅱ	4後		1		1		2	4					
作業療法管理学*2	2後		2				1						
評価学総論*2	1前		2							1			
身体障害作業療法評価学*2	1後		1							1			
精神障害作業療法評価学*2	2前		1							2			
発達障害作業療法評価学*2	2後		1							1			
高次脳機能障害作業療法評価学*2	3後		1				1						
応用評価学演習*4	3後		1				1	1					
日常生活活動学*2	1後		2							2			
身体障害作業療法学総論*2	2前		2				1						
精神障害作業療法学総論*2	2後		2							1			
老年期障害作業療法学総論*2	3前		2		1								
発達障害作業療法学総論*2	3前		2							1			
身体障害作業療法治療学各論*2	3後		2				1						
精神障害作業療法治療学各論*2	3後		2							1			
老年期障害作業療法治療学各論*2	3後		2		1								

専門科目	発達障害作業療法治療学各論*2	3後	2					1		
	義肢装具学*2	2後	2					1		兼2
	臨床作業療法学演習Ⅰ*2	4後	1	1		2	4			
	臨床作業療法学演習Ⅱ*2	4後	1	1		2	4			
	身体障害作業療法治療学実習*2	3前	1			1				
	精神障害作業療法治療学実習*2	3前	1					1		
	老年期障害作業療法治療学実習*2	3前	1	1						
	発達障害作業療法治療学実習*2	3前	1					1		
	応用身体障害作業療法治療学演習*4	3後	1			2				
	応用精神障害作業療法治療学演習*4	3後	1					1		
	応用老年期障害作業療法治療学演習*4	3後	1	1						
	応用発達障害作業療法治療学演習*4	3後	1					1		
	地域とくらしの健康*2	3後	2			2				
	生活環境学演習*2	3前	1			1				
	地域作業療法学演習*2	3後	1			1		1		
	レクリエーション演習*4	3後	1					1		
	臨床見学実習*2	2前	2	1		2	4			
	臨床評価実習*2	3後	4	1		2	4			
	総合臨床実習*2	4前	16	1		2	4			
小計(86科目)	-	0	150	0	3	2	4	7	0	兼14
合計(155科目)	-	53	206	0	8	3	5	7	0	兼65

卒業要件及び履修方法

【科目名の後ろの記号(*1~*4)の適応】
 *1は理学療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、作業療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
 *2は作業療法学専攻では必修とする科目(学部共通科目については、理学療法学専攻の学生も履修可能。)を指す。
 *3は理学療法学専攻の選択とする科目(作業療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。
 *4は作業療法学専攻の選択とする科目(理学療法学専攻の学生は履修不可。)を指す。

【卒業要件】
 学部共通科目、専門基礎科目、専門科目の各授業科目から合計129単位以上を修得すること。
 各専攻における卒業に必要な単位数は次のとおり。
 ① 理学療法学専攻:学部共通科目17単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から4単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*1の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目68単位以上(*1、*3の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。
 ② 作業療法学専攻:学部共通科目16単位以上(一般教育科目の人文科目から2単位以上、社会科目から2単位以上、自然科学科目から3単位以上、外国語科目から2単位以上、情報処理科目から2単位、スポーツ・健康科学の講義及び演習科目から2単位以上、実技科目から1単位以上、総合教養科目から2単位以上を取得(*2の科目を含む。))、専門基礎科目44単位以上、専門科目69単位以上(*2、*4の科目から選択。)を取得し、129単位以上を修得すること。

【履修方法】
 履修科目の登録の上限:48単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【※】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・ 「わかやま未来学」について、非常勤講師の本務の都合により、実施時期を前期から後期に変更した。
 ・ 「伝統医療論」について、「わかやま未来学」の開講時期変更を受け、開講時期を後期から前期に変更した。
 ・ 「体育実技Ⅰ・Ⅱ」について、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休講措置等により、当該授業が実施できない状況であることから、令和2年度入学生のみ開講時期を変更した。

【令和3年度】

- ・特になし。

【令和4年度】

- ・専任教員の退職の理由により、「哲学」の専任教員等の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「東洋思想」の専任教員等の配置を兼任に変更。
- ・「兼任」の契約解除の理由により、「文化人類学」の兼任の配置を新たな「兼任」に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「英語」の専任教員等の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「医学英語Ⅰ」の専任教員等の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「管理運営学」の専任教員2人の配置を専任教員1人、兼任教員1人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「運動療法学概論」の専任教員の配置を他の専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「神経障害理学療法学」の専任教員の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「神経障害理学療法学実習」の専任教員の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害理学療法学」の専任教員の配置を兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害理学療法学実習」の専任教員の配置を兼任に変更。

【令和5年度】

- ・兼任教員の契約解除の理由により、「英語」の兼任教員等の配置を兼任教員から新たな兼任に変更。
- ・兼任教員の契約解除の理由により、「医学英語Ⅰ」の兼任教員等の配置を兼任教員から新たな兼任に変更。
- ・兼任教員の契約解除の理由により、「英会話」の兼任教員等の配置を兼任教員から新たな兼任に変更。
- ・兼任教員の契約解除の理由により、「医学英語Ⅱ」の兼任教員等の配置を兼任教員から新たな兼任に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「評価学総論」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「運動学実習」の専任教員2人の配置を専任教員1人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「運動学実習」の専任教員2人の配置を専任教員1人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「評価学各論」の専任教員等の配置を新たな専任教員2人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「高齢者理学療法学演習」の専任教員2人の配置のうち1人を新たな専任教員1人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「情報処理演習Ⅱ」の専任教員2人の配置のうち1人を新たな専任教員1人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「理学療法研究の基礎」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「神経筋疾患理学療法学」の専任教員3人の配置を専任教員2人に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害作業療法学総論」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害作業療法治療学実習」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「作業療法概論」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「リスクマネジメント論」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害作業療法評価学」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「発達障害作業療法評価学各論」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「管理運営学」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「応用発達障害作業療法治療学演習」の専任教員等の配置を新たな専任教員に変更。
- ・専任教員の退職の理由により、「地域とくらしの健康」の専任教員2人の配置のうち1人を新たな専任教員1人に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	118 科目	0 科目	155 科目	37 科目 []	118 科目 []	0 科目 []	155 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{155} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	6,408.32㎡	㎡	㎡	6,408.32㎡	借用面積2,727.67㎡			
	運動場用地	18,912.12㎡	㎡	㎡	18,912.12㎡	借用面積 538.70㎡			
	小 計	25,320.44㎡	㎡	㎡	25,320.44㎡	借用面積3,262.37㎡			
	そ の 他	27,394.56㎡	㎡	㎡	27,394.56㎡	借用面積 737.63㎡			
	合 計	52,715.00㎡	㎡	㎡	52,715.00㎡	借用面積 4,000.00㎡			
(2) 校舎	専 用	17,918.43㎡	㎡	㎡	17,918.43㎡				
	(17,918.43㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(17,918.43㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科			21 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	和歌山保健医療学部	7095 [204] (3918 [82]) (4439 [73])	21 [6] (26 [6]) (272 [64])	2 [0] (2 [0]) (88 [0])	220 (42) (34)	5,340 (3,738) (4,321)	51 74 (51) (74)		
	計	7095 [204] (3918 [82]) (4439 [73])	21 [6] (26 [6]) (272 [64])	2 [0] (2 [0]) (88 [0])	220 (42) (34)	5,340 (3,738) (4,321)	51 74 (51) (74)		
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	168.6㎡	63		10,000					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	0㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費について、開設前年度中に予定していた図書の納入が行えなかったため、支払いを開設年度に繰り越した(2)設備購入費について、導入機器の変更に伴い、支払額に変更が生じた(2)設備購入費について、導入機器の充実を図ったため、支払額に変更が生じた。(3)
		教員1人当たり研究費等	450千円	450千円	図書購入費	17,400千円 0円	13,200千円 30,600千円	5,400千円	
	共同研究費等	3,000千円	4,000千円	設備購入費	132,000千円 192,857千円	72,000千円 83,831千円	7,000千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,500千円	第3年次 1,550千円	第4年次 1,550千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入、教育付帯事業収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宝塚医療大学										1	0	1	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
保健医療学部	4	224	-	896	-	0.94	-	0.86	-	-	平成23	-		
口腔保健学科	4	64	-	256	学士(口腔保健学)	0.12	-	0.12	-	-	令和5	兵庫県宝塚市花屋敷緑が丘1-6-38		
理学療法学科	4	70	-	280	学士(保健医療学)	0.96	-	0.91	-	-	平成23	兵庫県宝塚市花屋敷緑が丘1		
柔道整復学科	4	60	-	240	学士(保健医療学)	1.10	-	0.99	-	-	平成23	同上		
鍼灸学科	4	30	-	120	学士(保健医療学)	1.02	-	0.89	-	-	平成23	同上		
和歌山保健医療学部	4	150	-	600	-	1.01	-	0.96	-	-	令和2	-		
リハビリテーション学科	4	100	-	400	学士(保健医療学)	0.99	-	0.92	-	-	令和2	和歌山県和歌山市中之島2-2-52		
理学療法学専攻	4	60	-	240	学士(保健医療学)	1.09	-	1.02	-	-	令和2	同上		
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(保健医療学)	0.83	-	0.78	-	-	令和2	同上		
看護学科	4	50	-	200	学士(看護学)	1.09	-	1.09	-	-	令和4	和歌山県和歌山市中之島2-2-52 和歌山県和歌山市西庄1-107-26		
大学全体	4	374	-	1496	-	0.97	-	0.9	-	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (平成31年)	該当なし	留意事項		履行中	
設置計画 履行状況 調査時 (R2)	該当なし				
設置計画 履行状況 調査時 (R3)	該当なし				

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

6 その他全般的事項

<和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 宝塚医療大学FSD推進委員会を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年5月27日 開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 (1) 年次事業計画（案）について (2) 授業評価アンケートの実施について (3) FSD研修会の実施方針について (4) その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の資質向上のための研修の実施 ・ 職員の資質向上のための研修の実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の資質向上のための研修① 令和4年9月7日～23日 実施方法:オンデマンド配信 講師:大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部 「ドラマFD教材 大学の授業を極める」 ・ 職員・職員の資質向上のための研修② 令和4年9月10日～9月23日 実施方法:オンデマンド配信 講師:株式会社高等教育総合研究所 萩原大輔 「大学職員として～大学組織で活躍するために～」 ・ 職員・職員の資質向上のための研修③ 令和5年3月16日 実施場所:オンデマンド配信 講師:公益財団法人 日本高等教育評価機構事業課長 永井 良政 「令和6年度の認証評価受審に向けて」

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 研修① 参加者数75名（大学全体）
- ・ 研修② 参加者数119名（大学全体）
- ・ 研修③ 参加者数88名（大学全体）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修①では、大学の教育力向上、大学の授業内容及び方法の改善を図る。学習者中心の授業デザインと教育方法を学ぶための教員向け能力開発、学生の主体的な学びを促すアクティブラーニング型授業の普及活動を目的として実施した。

FD研修教材の4つのテーマ（授業設計、講義法、アクティブラーニング、学習評価）のうちから、任意の動画を視聴し、感想文の提出を求め、今後の授業の改善の一助とした。

参加した教職員からは、具体的なシラバス作成へのヒントを得た、アクティブラーニングの手法について知見を得たなどの意見があった。また、4つのテーマすべてを視聴した教員もあり、教育改革への意識の向上につながった。

研修②では、大学の教育研究活動等の効果的な運営を図るため必要な知識を習得させ資質の向上を目的とし、ポートフォリオの導入や教育課程の体系性を明示するナンバリングについての知識を習得する事を目的として実施した。

外部講師を招いての講演をとおして教職員の資質向上の一助とした。参加した教職員からは、大学職員として研鑽を重ねる事の重要性や、教職協働の推進の重要性について学んだとの意見があり、講演内容が平素の業務推進に役立っていると考えた。

研修③では、令和6年度の機関別認証評価受審に向けて、目的と活用方法、評価基準、評価項目の整理と理解を行う。学修者本位の教育の質保証を実現するために実施するべき事項について学ぶ事を目的として実施した。

本学の前回（平成29年度）の審査の際には和歌山保健医療学部は設置されていなかった事から、特に和歌山保健医療学部の教員にとって具体的な認証評価の評価基準等について知見を得ることで、審査に向けての取組について理解が深まったと考える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期：令和4年6月27日～7月8日

後期：令和4年11月28日～12月9日

上記の期間で開設している全ての授業科目について、授業評価アンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果を大学ホームページで公開している。

教員には個別に科目ごとの集計結果を配布し、その結果に対するリフレクションペーパーの提出を求めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和3年度は4月半ばに新型コロナウイルスによる感染拡大に伴い、授業形態を対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド授業を6月半ばまで実施した。6月半ばからは対面授業を再開し、安全に配慮しながら授業を実施した。しかし、令和4年の1月半ばには成人式を発端とした感染拡大が発生し、後期期末考査前の4日間を完全リモート授業を実施し、試験期間も短縮した。1月のコロナ感染急拡大は想定外の状況であったが、学生・教職員の安全を確保しながら、教育の継続・提供に努めた。令和4年度の未開講科目及び廃止科目はなく、設置計画に基づき、授業等を実施できた。当初予定していた新入生向け研修や各種行事などについては、実施を見送らざるを得なかったが、このような状況下でも、課外活動や学友会活動をスタートすることができた。令和4年度は学内でも多くの学生が新型コロナウイルス感染症に罹患したが、適切な登校停止措置や学内での感染対策を講じた結果大きな混乱もなく、すべての授業や試験が対面で実施され、実習も滞ることなく実施できた。また、コロナ感染症の影響で十分な募集活動を行うことが困難な状況であったが、令和5年度入学生については、入学定員理学60名に対し64名、作業40名に対し23名の入学生を確保することができ、和歌山県内における優れたリハビリテーション専門職の養成という設置の趣旨の達成に寄与できていると判断する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年7月30日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の教育評価を受ける予定である。

・令和6年に公益財団法人 日本高等教育評価機構による機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。